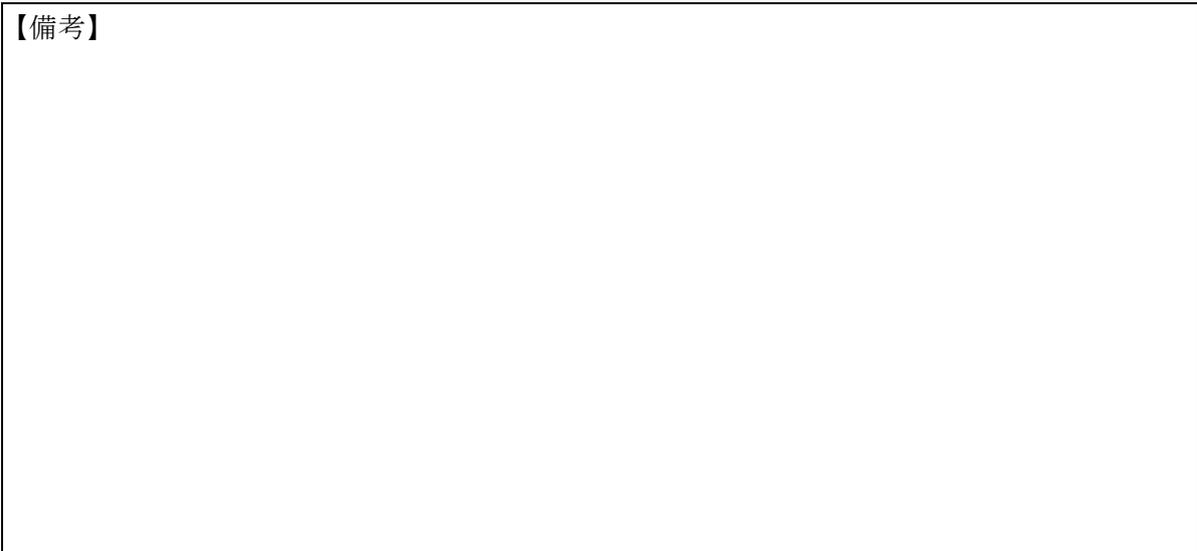


DataCenter 構築手順書

version 1.0

February 24, 2006

【備考】



【改版履歴】

日付	版数	内容
2006/02/24	1.0	初版.

目次

1. はじめに	4
2. DataCenter 構築手順	5
2.1. CAO.exe のインストール	5
2.2. CAP プロバイダのインストール	5
2.3. CapListener のインストール	5
2.4. DataBase プロバイダのインストール	6
3. DataCenter 使用方法	7
4. 付録	9

1. はじめに

本書は、リモート PC にあるデータベースに対して、CAO のインタフェースを利用してアクセスする DataCenter の構築手順を解説します。

DataCenter は、CAO プロバイダとして、CAP プロバイダと DataBase プロバイダを使用して DataBase にアクセスします。

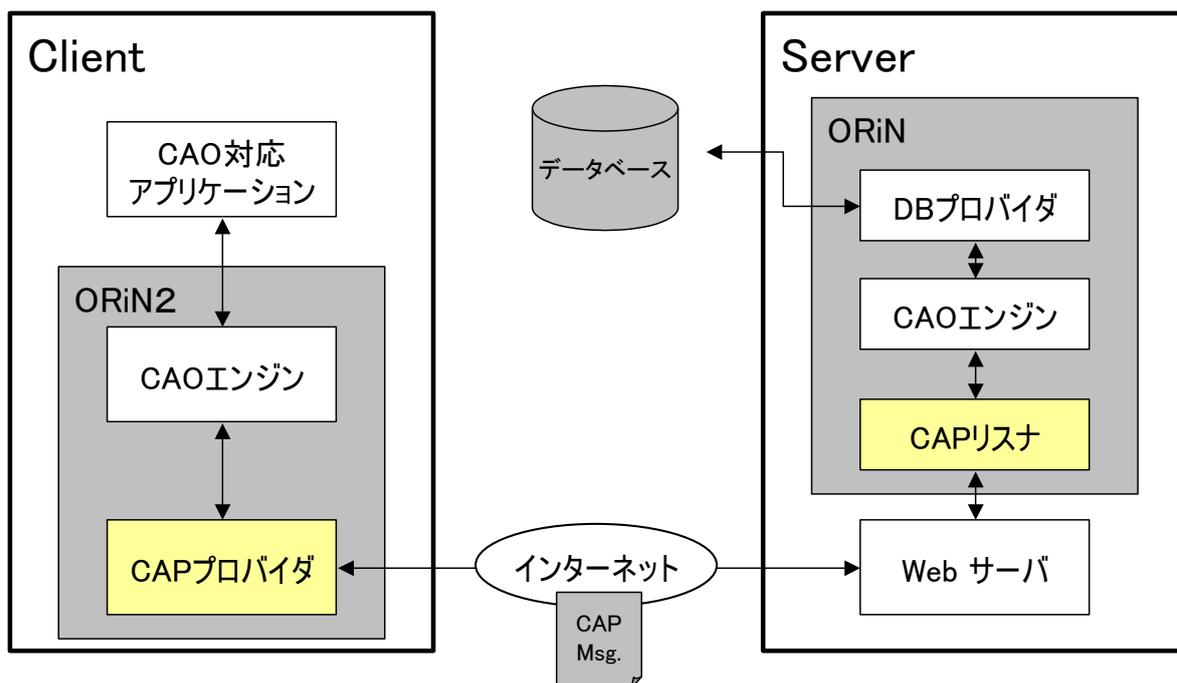


図 1 DataCenter の構築モデル

本書では設定手順と使用方法について解説していきます。

2. DataCenter 構築手順

2.1. CAO.exe のインストール

対象: サーバ, クライアント共通

CAO.exe を以下の以下のコマンドでレジストリ登録します。¹

```
Gao.exe /regserver
```

2.2. CAP プロバイダのインストール

対象: クライアント

(1) CaoProvCAP.DLL を以下のコマンドでレジストリ登録します。¹

```
regsvr32 CaoProvCAP.DLL
```

(2) Microsoft SOAP Toolkit 3.0 をインストールします。

表 1 Soap Toolkit 3.0 ダウンロードサイト

ファイル名	URL
soapsdk.exe	http://msdn.microsoft.com/webservices/building/soaptk/

2.3. CapListener のインストール

対象: サーバ

(1) CapListener.dll をレジストリ登録します。¹

```
regsvr32 CapListener.dll
```

(2) Microsoft SOAP Toolkit 3.0 をインストールします。(表 1 参照)

(3) Microsoft SOAP Toolkit 3.0 の SOAPVDIR.CMD を使用して仮想ディレクトリを作成します。作成にはコマンドプロンプトで以下のコマンドを入力します。

```
SOAPVDIR.CMD CREATE CapListener <CapListener の Bin ディレクトリ>
```

(4) IIS の設定で CAPListener ディレクトリ内にある以下の 2 つのファイルの読み込みアクセスにチェックを付けます。

- ・ CapLister.WSML
- ・ CapListerClient.WSML

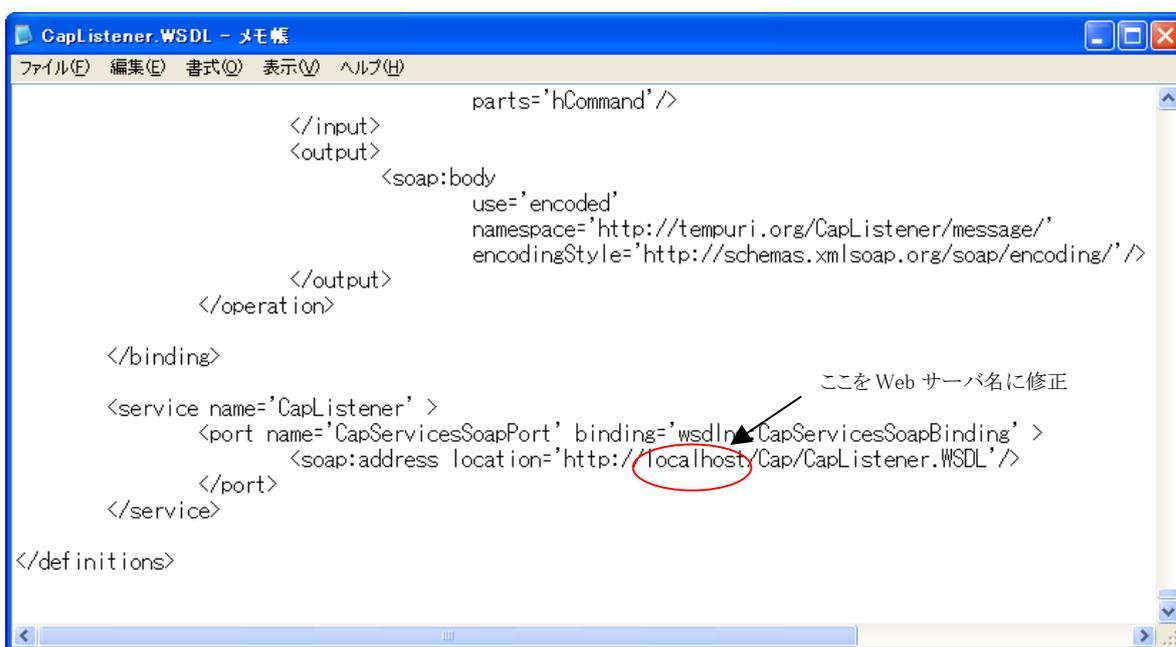
(5) サーバで, dcomcnfg.exe を起動し, CAO.exe の起動権限にインターネットゲストアカウントを追加します。

(6) CapListener ディレクトリ内にある CapListner.WSDL ファイルの 3492 行目 (図 2) の **サーバ名** だけを, 実際の Web サーバの名前に変更します。

(例) soap:address location='http://**cap-server**/raplisten/CapListener.WSDL' />

¹ ORiN SDK でインストールした場合は手動で登録/抹消する必要はありません。

図 2 CapListener の修正箇所



2.4. DataBase プロバイダのインストール

対象: サーバ

- (1) CaoProvCAP.DLL を以下のコマンドでレジストリ登録します。¹
regsvr32 CaoProvCAP.DLL
- (2) MDAC (Microsoft Data Access Components) 2.7 をインストールします。

表 2 MDAC ダウンロードサイト

ファイル名	URL
MDAC_TYP.EXE	http://www.microsoft.com/downloads (Microsoft ダウンロードセンター)

3. DataCenter 使用方法

DataCenter に接続するためには、CaoController::AddController を実行します。このとき、使用するプロバイダに CAP プロバイダを指定し、そのオプション文字列に DB プロバイダを指定します。

以下に CAP プロバイダ、DataBase プロバイダを示します。CAP プロバイダ、DataBase プロバイダの動作については各ユーザズガイドを参照して下さい。

表 3 CAP プロバイダのオプションの値

オプション	意味
Server=<Webサーバ名>	WEB サーバ名を指定します。 デフォルト値: "localhost"
Provider=<プロバイダ名>	リモート起動するプロバイダ名。 必須オプション
Machine=<マシン名>	WEB サーバと異なるマシンでリモートプロバイダを起動するときに指定します。 デフォルト値: 空文字列
Option=<オプション文字列>	リモートプロバイダに必要なオプション文字列を指定します。 デフォルト値: 空文字列

表 4 DataBase プロバイダのオプションの値

オプション	意味
Provider=<OLEDB プロバイダ名>	必須. 開きたいデータベースの OLEDB プロバイダ.
Data Source=<データソース>	必須. データソース. プロバイダにより異なります.
Initial Catalog[=<カタログ名>]	初期カタログ. プロバイダにより異なります.
User ID[=<ユーザ ID>]	データベースのユーザ ID.
Password[=<パスワード>]	上記ユーザのパスワード.
Extended Properties[=<属性>]	追加の属性.
Key[=<キー名>]	キーとして使用するフィールド名 (デフォルト: 指定したテーブルの主キー)

以下に Access2000 にアクセスするときの AddController のサンプルを示します。

サーバ名 : “DCServer1”
データベース : Access2000
ファイルパス : “C:¥DB.mdb”
テーブル名 : Table1

```
AddController
(
    “Table1”, // コントローラ名 = テーブル名
    “CaoProv. CAP”, // 固定
    “”, // CAO エンジンプロセスで CAP プロバイダを実行
    // オプション文字列 Option=(DB プロバイダのオプション文字列)となっています。
    “Server=DCServer1, Provider=CaoProv. DataBase,
    Option=(Provider=Microsoft. Jet. OLEDB. 4. 0, Data Source= C:¥DB.mdb)”
);
```

以下に MySQL にアクセスするときの AddController のサンプルを示します。

サーバ名 : “DCServer2”
データベース : MySQL
ODBC データソース : “DataCenter”
テーブル名 : Table2
ユーザ名 : Sample_User
パスワード : Passwd

```
AddController
(
    “Table2”, // コントローラ名 = テーブル名
    “CaoProv. CAP”, // 固定
    “”, // CAO エンジンプロセスで CAP プロバイダを実行
    // オプション文字列 Option=(DB プロバイダのオプション文字列)となっています。
    “Server=DCServer2, Provider=CaoProv. DataBase,
    Option=(Provider=MSDASQL, Data Source= DataCenter, User ID=Sample_User,
    Password=Passwd)”
);
```

4. 付録

表 5 ADO の接続文字列一覧

データベース	オプション	データ
SQL Server	Provider	SQLOLEDB.1
	Data Source	SQL サーバ名
	Initial Catalog	データベース名
	User ID	データベースのユーザ ID.
	Password	ユーザのパスワード.
Oracle	Provider	MSDATAORA
	Data Source	Oracle サーバ名
	Initial Catalog	データベース名
	User ID	データベースのユーザ ID.
	Password	ユーザのパスワード.
MySQL	Provider	MSDASQL
	Data Source	ODBC データソース
	User ID	データベースのユーザ ID
	Password	ユーザのパスワード
Access97	Provider	Microsoft.Jet.OLEDB.3.51
	Data Source	ファイル名(*.mdb)
Access2000	Provider	Microsoft.Jet.OLEDB.4.0
	Data Source	ファイル名(*.mdb)
Excel2000	Provider	Microsoft.Jet.OLEDB.4.0
	Data Source	ファイル名(*.xls)
	Extended Properties	Excel8.0